



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 198

令和2年（2020年）12月21日発行

■ 冬至（とうじ） 令和2年12月21日から1月4日までの節気

今年も残り少なくなりました。みなさま、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。12月の中頃、遊歩道を歩いていたら、カエデが真っ赤に紅葉していました。あまりに赤いので、びっくりしてしまいました。落ちている葉を一枚拾い、今年亡くなった母の遺影の前に置きました。白い小皿に赤い小さなカエデの葉。葉は一日経つと乾燥して、開いた手を丸めるように姿を変えました。かわいらしいなど見とれてしまいました。今年はいつもと違う一年がずっと続いていますね。そのせいか、私の住んでいる町はとても静かです。

二十四節気は12月21日から「冬至」の節気に入ります。年を越して1月4日までです。冬至の日は太陽が最も低くなるので、昼が一番短く、夜が一番長くなります。日本ではこの日に南京（かぼちゃ）を食べると一年間、風邪をひかないと言われています。さらに南京（なんきん）のように「ん」のつくものを食べると「ん」と「運」をかけて運が寄ってくるそうです。大根、人参、銀杏、レンコン・・・全部鍋に入れて熱々の野菜汁にしたら、美味しいし、一度に運をたくさん呼べそうですね。さらに冬至の日には柚子湯に入ります。体が温まるし、無病息災に効くのだそうです。新型コロナウイルスの感染者数が増えています。収束を願いながら、柚子湯につかりたいと思います。

12月31日は、大祓（おおはらえ）です。大祓えは大晦日に身体に積もった穢れを祓うために行われてきました。我が家では12月の大祓えと6月の夏越の祓に毎回愛犬と夫と3人で行きました。今年の6月、夏越の祓えに行った時、愛犬は19歳。夫に抱きかかえられながら茅の輪をくぐりました。そしてその2ヶ月後、天国にいきました。寂しさは増すばかりです。今年の大祓えは夫と二人で行き、無病息災を願いたいと思います。

年末から年始にかけて、私たちは気持ちをリセットして、新しい年こそ良い

年になるようにと願います。初詣、皆さんはどうされますか。分散参拝やオンラインでの参拝など、神社も密集しないように呼びかけて工夫をしているようです。我が家では毎年、恵方参りに行きます。恵方はその年の福を司る神様がいらっしゃる方向で毎年変わります。2021年の恵方は南南東。自宅を中心に南南東方向にある神社に初詣に行くのですが、混雑を避けて今年は旧正月(2月12日金曜日)か、立春(2月3日水曜日)に行こうと思っています。まず、年が明けたら1月1日の太陽に手を合わせて、一年の平穏と幸を願いたいです。

気象庁から気になるお知らせが出ました。気象庁は季節の移り変わりを示す動植物の変化を調べる「生物季節観測」を1953年から行なっていました。気象庁のホームページによると、「気象庁では、全国の気象官署で統一した基準によりうめ・さくらの開花した日、かえで・いちょうが紅(黄)葉した日などの植物季節観測や、うぐいす・あぶらぜみの鳴き声を初めて聞いた日、つばめ・ほたるを初めて見た日などの動物季節観測を行っています。観測された結果は、季節の遅れ進みや、気候の違いなど総合的な気象状況の推移を把握するのに用いられる他、新聞やテレビなどにより生活情報のひとつとして利用されています。」とあります。しかし2021年1月から、調べる「動物植物」を大幅に減らすそうです。ウグイスの初鳴きやツバメの初見など動物観測は全て廃止。植物も、あじさいの開花、いちょうの黄葉・落葉、うめの開花、かえでの紅葉・落葉、さくらの開花・満開、すすきの開花の6種類9現象だけになります。生態環境が変わってきて、調査が難しくなったことが理由だそうです。

七十二候という暦はみじかな植物や生き物が、私たちの暮らしに季節の移ろいを伝えてくれています。例えば「玄鳥(ツバメ)至る(清明初候)」「蛙初めて泣く(立夏初候)」などなど。少しずつ自然と乖離しつつある私たちの生活。このままで良いのだろうかと考え込んでしまいます。気象庁が「生物季節観測」をやめてしまったら、季節を教えてくれる植物や動物が消えてしまっても私たちは気づかないかもしれません。民間で各地から情報を寄せ合うようなことができないのでしょうか。先日、埼玉の友人が「ジュズダマ」をビニールの袋に入れて送ってくれました。私が子どもの頃は、ジュズダマを糸でつなげて腕輪を作ったものですが、今は近所には見られなくなってしまいました。オナモミもなくなりました。このような植物が姿を消すということは、子どものあそび

自体も伝承されていかないということになります。何が自分たちにできるのか、考えていきたいですね。

来年は丑年です。今年も大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。
2021年が幸せな穏やかな一年になりますように！今年最後の満月は12月30日です。お月さま、見られるといいですね。

来年もよろしく願いいたします。

すとうあさえ (NPO PTPL 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

ピーンと張り詰めた厳しい寒さが続く冬本番。東京では初雪はまだありませんが、各地より大雪、小雪のニュースも続々と届いています。一方、世界では、コロナウィルス感染が拡大し続けています。英・米では、ワクチン接種が始まりました。(アレルギー反応を起こした人も出ました。)安全で、有効なワクチンであれば良いのですが……?!世界中に行き届くまでに、いつまでかかるのでしょうか?!!

同時に今、世界は脱炭素社会の実現に向けて、エネルギー政策の転換、温室効果ガスの抑止、地球温暖化防止などが大きな「うねり」になっています。

このような世上、我々は人間の精神的基盤、価値観として「ともいき・ともうみ・ともさち・そして和」のジャパネスクを心懸けて毎日を暮らしていきましょう。

日本 2020 ジャパネスク
「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。
日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三 (NPOPTPL 理事長)

■事務局便り

- 今年最後の「ともいき便り」をお送りします。今年を振り返ってみると、新型コロナウイルスで始まり、新型コロナウイルスで終わりそうです。収束どころかますます感染拡大する中、私たちはこの問題にどう打ち勝つべきか、ひとりひとりが考える必要を感じます。このような時こそ、日本の先人たちの知恵がいかせないでしょうか？ 日本発の生活観、価値観を発信していきたいものです。最後に、今年一年も大変お世話になりました。新しい年が皆さまにとって素晴らしい年になりますよう祈念します。

- 日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2020/>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「日本とは、日本人とは、その心とは何か？」

<http://www.japanesque.tokyo/files/chart5.pdf>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp